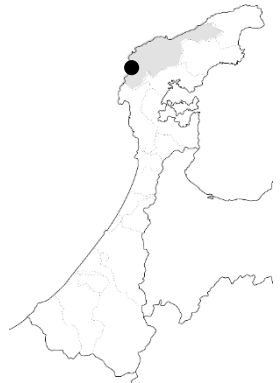


輪島市黒島地区(石川県)



(1) 保存地区の概要



街道沿いの町並み

地区名	輪島市黒島地区
種別	船主集落
面積	約20.5ヘクタール
選定年月日	平成21年6月30日
特徴	輪島市黒島地区伝統的建造物群保存地区は、能登半島先端の北西に位置し、海岸段丘上に細長く形成されている。江戸後期から明治中期にかけて活躍した北前船の船主や船頭・水夫が多く居住した集落で、今でも昔ながらの街割がよく残されている。建物は平入・妻入の主屋が入り交じる一方で、黒釉薬瓦に格子、下見板張りといった要素が町並みに一定の統一感をもたらしている。

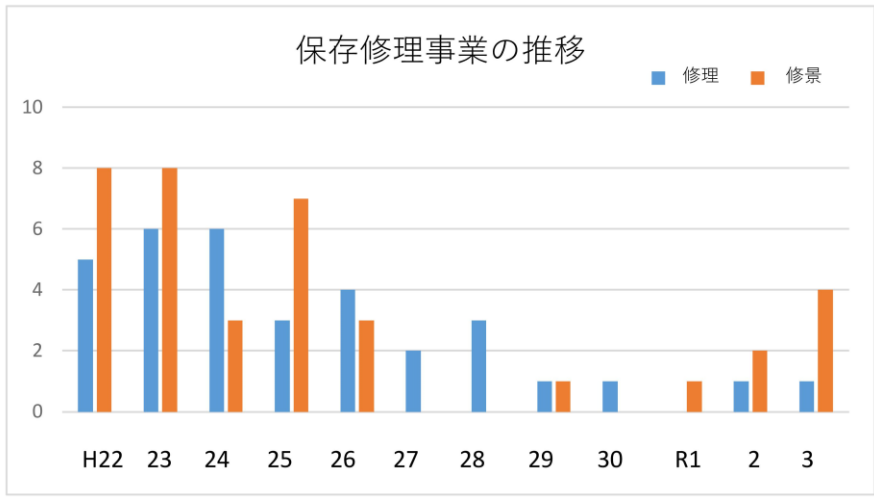
(2) 保存地区のあゆみ

平成18年度(2006)	能登半島地震(M6.9)発生。	
平成19年度(2007)	「輪島市復興計画」に黒島地区の復興方針として国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を目指すことが位置付けられる。地区住民の有志により「黒島地区まちづくり協議会」が発足する。黒島地区伝統的建造物群保存対策調査委員会が開催される。	
平成20年度(2008)	黒島地区の調査に着手する。「輪島市伝統的建造物群保存地区保存条例」の制定。	
平成21年度(2009)	重要伝統的建造物群保存地区の選定。	
平成22年度(2010)	修理・修景事業を開始する。	
平成23年度(2011)	「黒島地区まちづくり協議会」が平成23年度まちづくり功労者として国土交通大臣表彰を受ける 「黒島地区まちづくり協議会」から「黒島地区まちなみ保存会」に改称。 旧角海家住宅の復原工事が完了し、公開を開始する。	
平成28年度(2016)	旧角海家住宅が重要文化財に指定される	

(3) 保存地区の保存と整備

■ 修理・修景事業の実施

- ・能登半島地震の復興にあたり、修理修景事業を活用した。
- ・多額の工事費が必要な土蔵の修理も補助事業により行われた。
- ・修景事業は、主屋の外観修景や、震災により被災したコンクリートブロック塀が板塀になった。



【修景事業の事例】



【修理事業の事例】

輪島市黒島地区(石川県)

■ 街なみ環境整備事業の実施

・道路美装化や案内板設置等によりまちあるきの誘導を図った。



(4) 保存地区の活用とまちづくり

■ 旧角海家住宅の復原工事

能登半島地震で甚大な被害を受けた旧角海家住宅の寄附を受け、復原工事を行った。重要伝統的建造物群保存地区の選定と、黒島地区を代表する北前船主住宅の復原により、観光客の来訪も増加している。

■ まちなみ保存会の活動

黒島地区まちなみ保存会は、旧角海家住宅の管理運営のほか、町並みガイドツアーの実施、大学との連携による小公園の整備等のまちづくりに積極的に参画している。

■ 黒島天領祭

黒島地区の人口減少により祭礼の実施が難しくなっているが、大学生の担ぎ手ボランティアを受け入れ、町並みに賑わいが戻っている。



(5) 住民等の取組

平成22年度以降、修理修景事業により黒島地区の町並みは回復しつつある一方で、地区の住民の高齢化が進んでいる。また、木造住宅密集地であることから火災対策を含む防災対策が課題となっている。このことから、地区住民参加で黒島地区の防災について専門家の意見を受けながら、消火訓練や避難訓練を行い、令和3年度までに輪島市は防災計画を策定した。今後は官民連携をして、防災に強いまちづくりを目指していきたい。

